

令和2年3月11日

那須烏山市議会議長 沼田 邦彦 様

総務企画常任委員会委員長 小堀 道和

所管事務調査結果報告書

平成30年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

1 調査期間 平成30年6月11日から令和2年3月11日まで

2 構成委員 小堀道和、興野一美、堀江清一、矢板清枝、高田悦男

3 調査事項

- (1) まちづくりに関する事項
- (2) 防災に関する事項
- (3) 税の収納対策に関する事項
- (4) その他所管に属する事項

4 調査結果

- ・平成30年11月20日に、埼玉県東秩父村において防災対策について視察した。東秩父村では既設放送設備が使用不可となった4年前に、防災情報通信システムとして全世帯（約1000世帯）にタブレットを無償貸与し、災害に強い村づくりを進めている。本市で採用するには経費や高齢化の面で、検討課題が多いと感じた。
- ・翌21日に、過疎化の進む群馬県南牧村を訪れ、死活問題である定住促進活動について視察した。国の助成金を活用し古民家を整備するなど若い家族が住みやすい条件づくりを行っていた。定住希望者に村長自らが面談し、働く場所や村民との付き合いなどを担当職員2名が寄り添いながら対応している。年間6世帯の定住者目標を数年達成しており、本市の参考となる有意義な視察となった。
- ・令和2年2月7日に近隣自治体の茂木町及び高根沢町において、地域の公共交通手段の高齢化対応として今後ますます重要となるデマンド交通の最適運行要領等について視察した。茂木町はエリアが広いため本市と同様に乗り継ぎ制度を採用しているが、乗り継ぎ場所として、もてぎふれあいの家という空き家を利用した施設を活用していることや、商店街活性化のため商工会と連携し100円分のおでかけ券を配布するな

どの点が参考になった。高根沢町は町内を100円で運行し、かつ町外の病院等の目的地が多く、運営面での工夫が参考になった。来年度は80歳以上を無料にすることを検討しているとの説明を受け、高齢者の健康と買い物支援による経済的効果を考えると本市も検討すべきと感じた。近隣自治体の研修は低コストで効果大を実感しました。